

同窓会会員数

(2008年4月現在)

| | |
|---------|---------|
| 旧高女卒 | 2,043名 |
| 旧因島高校卒 | 15,206名 |
| 旧因島北高校卒 | 7,852名 |
| 因島高校卒 | 1,651名 |
| 計 | 26,752名 |

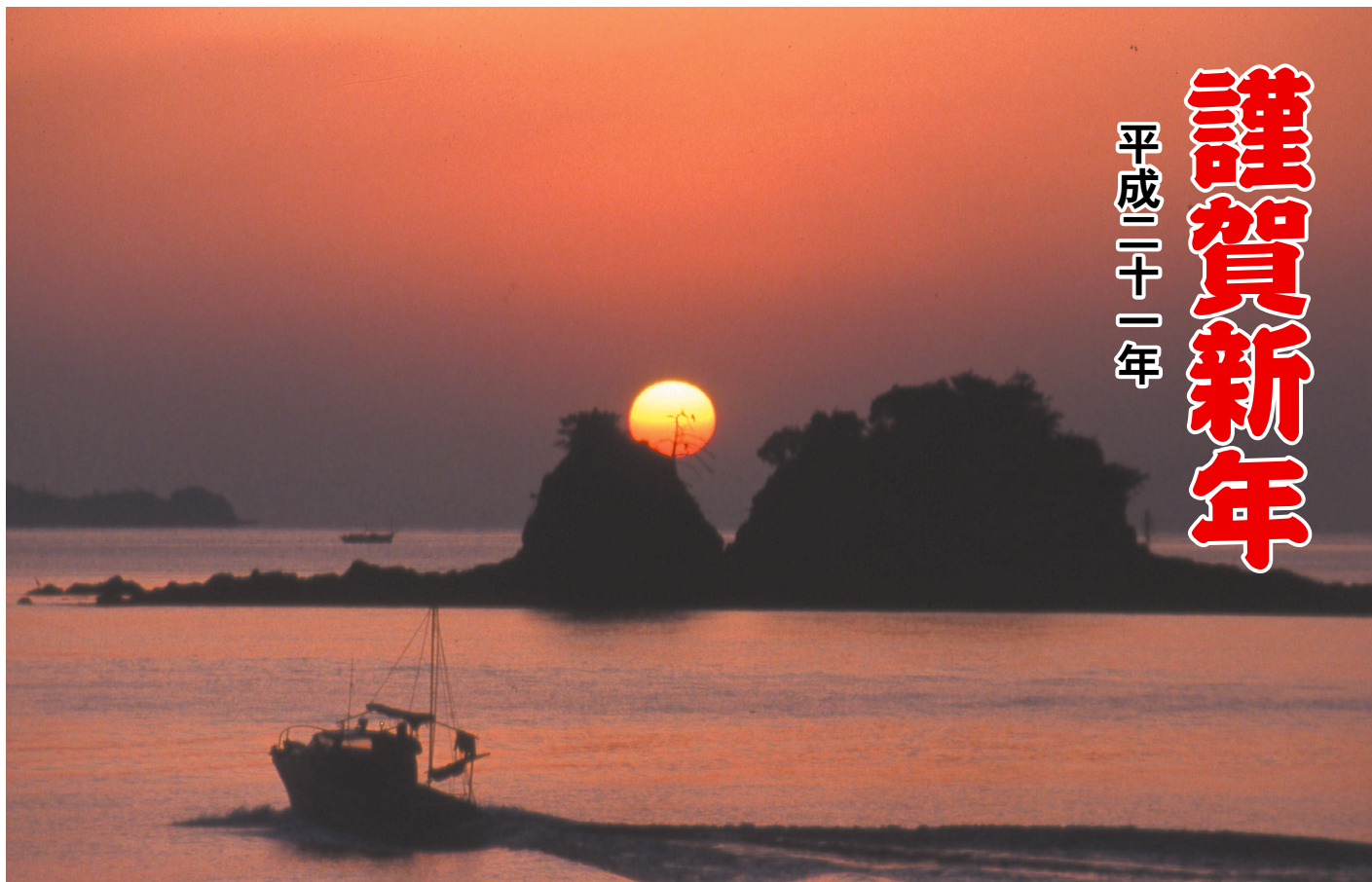
定時制・分校卒業生含む



広島県立
因島高等学校
同窓会報

2009年1月31日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会
会長 小江 章
事務局 尾道市因島重井町5574
(因島高等学校内)
電話(0845)24-1281
FAX(0845)24-3585

<http://0845.boj.jp/doso/>


因島(大浜八重子島)

平成二十一年
謹賀新年

“明けましておめでとございます”

因島高校同窓会会長 小江 章



明けましておめでとうございます。

因島高校同窓会員の皆様には日頃から同窓会活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、早いもので同窓会長をさせていただいて2年目を迎えました。年齢によるものか、社会の変化スピードのせいなのか、あっ

という間に1年半が過ぎました。

昨年は、世界同時株安と円高、物価の高騰、食品の安全性の崩壊など短期間に社会経済環境が大きく変化し、

私たちの生活にもかなりの影響が出た1年になりました。

因島においても、原材料の高騰、円高等の影響を相当受けているようです。

そんな中で、因島も尾道市と合併し3年が経過し、尾道という行政区域の中での因島地域のありようが問われる時代になったのではないのでしょうか。

因島高校同窓会も将来の因島高校同窓会の活動を見据えながら、引き続き、同窓会員の親睦を深めてまいりたいと思います。

平成21年新春



因島高校同窓会のホームページを開設しています。 <http://0845.boj.jp/doso/>

一筋縄でいかない人材育成を

広島県立因島高等学校 校長 下木 伸 滋



もう二十年近く前のことになりましたが、私はホームステイの引率でオーストラリアを訪れました。滞在したのは、オーストラリア北部にあるライブソニーという村でした。

そこに約1ヶ月滞在したのですが、滞在中は、地元にある小中高一貫校の先生のお宅に泊めていただき、月曜から金曜までその学校に通いました。

ある日、その先生から、社会科の授業に参加して欲しいと依頼がありました。その日の授業で日本について学ぶというのです。逃げるわけには行かないので、内心びくびくしながらも教室を訪れました。しかし、生徒たちの気さくな態度のおかげで、私の緊張はすぐとけ、同時に、彼らの日本に対する関心の意外なほどの高さに驚いてしまいました。彼らは、私よりも日本のことを客観的によく勉強していて、結局、私の方が、この授業で、あらためて日本という国のあり方を再認識させてもらうことになりました。

日本は、自然資源の乏しい国です。その国が世界で生き抜いていくためには、海外から資源を輸入し、それをありとあらゆる知恵と技術を駆使して加工して世界に送り出しながら生きていく。小学校の社会科でも習う程度のことですが、私は、この日の授業でオーストラリアの生徒たちとやり取りする中で、このことをとても新鮮な気持ちで勉強なおしました。その授業の最後に、私が思わず言ったことは、「……だから、日本では人が最大の財産なのです。」

この日再認識した日本のあり方は、因島を中心とする芸予諸島にも当然あてはまると思います。国内外の状況の変化に対応するために、多くの人々が知恵を絞り、技を磨きながら、地域を発展させてこられました。そして、その中心は、言うまでも無くこの地で育てられた「人」です。

因島高校は、こうした地域のあり方をふまえ、地域に

根ざし、地域のために知恵を絞り、技を磨き、激変する社会状況に対応できる「一筋縄ではいかない」人材の育成に努めてゆきます。どうぞOBのみなさまのご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



OB 田頭剛さん体操演技発表会



本校卒業生田頭 剛さん(順天堂大学3年)は、8月末に行われた全日本大学体操競技選手権大会において、レギュラーとして試合に出場し、団体優勝に貢献すると同時に、個人総合において5位入賞、また種目別では跳馬1位という輝かしい結果を遂げることができました。

その後、9月に約1カ月間因島高校で教育実習生として保健体育の科目で教壇に立ちました。この機会に在校生に生のすばらしい体操の演技を鑑賞してもらおうと生徒会が企画し、9月24日(水)6時限に体育館で演技発表会が催されました。

床、鞍馬、吊り輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を30分間にわたり披露しました。迫力あるトップクラスの技に全校生徒のみなさんは、十分堪能したことと思います。



内海造船株式会社

取締役社長 嶋 末 幸 雄

本社：瀬戸田工場／〒722-2493 広島県尾道市瀬戸田町沢226-6
TEL(0845)27-2111 FAX(0845)27-2895
<http://www.naikaizosen.co.jp>

因島工場／TEL(0845)22-6926
東京支社／TEL(03)3761-6926
中部営業所／TEL(052)581-1644

田熊工場／TEL(0845)22-1411
大阪支社／TEL(06)6441-2071
九州営業所／TEL(092)441-6811

種目別「跳馬」で優勝 —全日本体操選手権—

それから1カ月後、田頭選手は、10月31日から開催された全日本体操選手権で日本のトップクラスの選手と競う中、個人種目の跳馬で優勝、床運動で5位入賞と大活躍しました。

団体金メダル、種目別「跳馬」銀メダル

—アジアシニア体操選手権—

11月15日～18日にかけて第4回アジアシニア体操選手権がカタールのドーハで開催されました。男子6名の選手に選出された田頭選手は、団体戦で日本チームの金メダルに貢献、また種目別でも得意の跳馬で銀メダル、吊り輪で7位に入賞と活躍しました。



活躍を祝して因島高校玄関前に掲げられた横断幕



クラブ紹介 各クラブの紹介文を放送。その間1分間程度実技発表



障害物競走 5つの障害の最後、麻袋の中に入り両足ジャンプ



着付け競争 10パートで着付けを行い、終了後PRのパフォーマンス。最後にグラウンドを行進し観客者の投票により賞を競う

●●●平成20年度体育会●●●

2学期の最大の行事である体育会は、10月4日(土)に行われました。それまでに体育の授業などで練習を重ねた成果をたくさんの来校者のみなさんに見ていただきました。今回は、どんな種目を行っているのか一部を紹介したいと思います。同窓生のみなさんの高校時代の体育会を思い出して頂ければと思います。



アルピニスト 数人で竹を支え、3人の走者はスタート地点からリレーで竹に登り、旗やボンボンをたてる



クラス対抗リレー 男子3(200m)女子3(100m)の6名でバトンをつなぐ



跳躍運動 3年男子が体育の時間に練習したさまざまな跳躍を披露

《課題研究発表会》

11月17日(月)午後、体育館において課題研究発表会が行われました。3年生が1年間かけて研究、製作したことなどを在校生・来客者の前で発表します。今年度は、13の教科から発表がありました。

その中で今回は、現代文「ケータイ小説の恋愛について

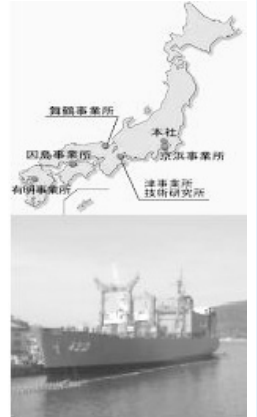
未来へ飛躍する!

ユニバーサル造船株式会社

日立造船とNKKの船舶・海洋部門が統合して6年、ユニバーサル造船は、わが国造船界のリーディングカンパニーです!

因島事業所 事業所長 西 潟 外 志 勝

〒722-2393 広島県尾道市因島土生町2477番地16
TEL:0845-22-1220 FAX:0845-22-0383



て」と生物「プラナリア実験と考察」の研究論文が県教委主催の「ことばの輝き」優秀作品コンクールにエントリーすることになりました。



上:生物 右:現代文の講座の発表



中国高校囲碁選手権大会で対局中の宮地さん



陸上部健闘

9月に行われた陸上競技の広島県高校新人戦において男子円盤投げ第5位(2年宮地健斗君)・第7位(1年石黒孔久君)、男子やり投げ第7位(1年石黒孔久君)とフィールド種目で健闘しました。

団体で第3位入賞 一県体操新人戦へ

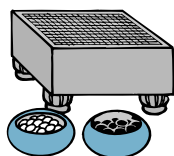
広島県体操競技新人大会が、11月8・9日に沼田高校で行われました。男子団体総合で因島高校が第3位入賞と健闘、種目別でも、鉄棒第7位・跳馬第8位・吊り輪第8位(いずれも2年藤本恭平君)、床運動第8位(1年宮本直季君)入賞とがんばりました。

囲碁将棋部宮地さん中国大会へ

第31回広島県高校囲碁選手権大会が、11月22日に広島市の中国新聞本社ビルで開かれました。個人戦女子の部(9名出場)に出場した1年宮地亜里花さんは、2勝2敗ながら中国大会出場枠4名の中に入り、出場権を獲得しました。

中国大会3位入賞 全国大会へ

1月6・7日に第12回中国高等学校囲碁選手権大会が、県大会と同じ会場で行なわれ、男女団体戦・個人戦に熱戦が繰り広げられました。女子個人戦では、中国5県の代表者10名が5戦し、スイス方式により順位を決定します。宮地さんは、3勝2負の成績で見事第3位に入賞し、全国大会出場権を獲得しました。全国大会は、3月20日と21日の両日、東大阪市の大阪商業大学で開催されます。まだ1年生なので今後さらなる活躍が期待されます。



活動報告・会計報告を承認!

(一般・会報)

尾野村祐治(昭40年卒)を招き「記念講演」を開催。

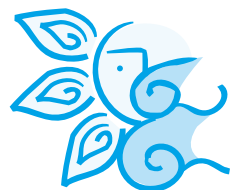
毎年、8月15日の同窓会恒例行事となっています「総会」が因島芸予文化情報センターにおいて開催されました。

20年度総会は村井弘明副会長の司会で始まり、小江会長から「日頃の活動への協力に対する感謝の挨拶」をいただいた後、19年度の事業報告と一般収支報告、会報収支報告がそれぞれ報告され報告どおり、事業計画・予算も提案どおり承認されました。

今年の総会から『記念講演』として、同窓生の中でご活躍いただいている方をお招きし、苦労話や時の話題などをお話いただく講演会を開催することになりました。

第1回目は、昭和40年(S21年生)に卒業され、岡山大学理学部を卒業後、日本経済新聞・時事通信社で記者として活躍された尾野村祐治さんから「聞いてよかったと思える話」と題して、仕事を通じて関わってきた日本の農業事情・食料事情をお話いただきました。

出席いただいた皆さんからは、「楽しかったよ」「わかりやすかったよ」と好評でした。



2008年度同窓会を終えて

2008年度因島高校同窓会実行委員会

実行委員長 松浦信義
(昭和61年卒)



明けましておめでとうございます。昨年は2008年度同窓会総会開催にあたり、同窓会役員の皆様をはじめ、現因島高校の先生方のご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。御蔭をもちまして盛会裡に終了することができました。また運営に携わった同期生の皆様もたいへんありがとうございました。

事のはじまりは、前実行委員長の言葉の中にもありましたが、突然やって来ました。

来年は自分達が当番回生となると聞かされ、2007年度の同窓会総会へ出席するも、スタッフの人数の多さに圧倒され、本当に自分達が来年



できるのかという不安を感じたのを覚えています。

そうこうしているうちに、月日はあっという間に流れ、常任委員になっている同期生から、同窓会本部より、総会について打ち合わせをしたいため、早く実行委員長も決めてほしいと連絡があったのは、5月下旬ごろ、常任役員になっている同級生と共に、地元に残っている同級生に声かけ、会議を開くも集まった人数は十数名、リーダーシップを執れるような人材がいないうち、多数決により私が実行委員長と決まってしまった。

過去の実行委員長を当同窓会ホームページで確認するも、元J C (因島青年会議所)の会員でいらっしゃった方が多く、人脈もなく、リーダーシップも持ち合わせていない私でやっていけるのか、皆付いて来てくれるのか、とても不安を感じていました。

そのような中、6月中旬ごろに同窓会本部との打ち合わせに臨んだ折、小江会長より「好きなようにやったらいい」と優しいお言葉をいただき、気持ちが楽になったものの、スタッフ並びにチケットの販売状況については不安は拭いさることができませんでした。

7月上旬ごろには常任委員会を開催し、企画内容の発表並びにチケット



の販売を常任委員さんへお願いしなくてはいいと話しを聞き、同窓会本部との打ち合わせ後は、ほぼ毎週金曜日、因島高校

の部屋を借りて、打合せ会議を行いました。

当日のメインとなるアトラクション並びに料理の内容を検討していると、とんでもない案が挙がってくる。



というのも集まっている同期生のほとんどが同窓会総会へ出席したことがない人ばかりのため、総会の雰囲気分からないことに気づき、先輩方からビデオを借りようとするも、「撮ったけど所在がわからない」との返事。仕方なく、過去の写真を見せることで、雰囲気を感じ取ってもらい内容を検討していった次第である。

アトラクションの内容も細部まで決まらず、また会計よりチケット販売状況が報告されるたびに胃が痛い日々が過ぎて行き、なんとかなるかなと思えたのは本番3日前ぐらいでした。

前日にリハーサルをするも、アトラクションで不具合が生じ、夜遅くまで調整を行い本番に臨みました。

当日は思ったとおり、バタバタする中で終わっていました。そして最後の見送りの時にご出席していただいた方々より、「楽しかったよ」、「良かったよ」という御褒めのお言葉をいただき、また笑顔で帰っていかれる姿を見ることができ、今回のスローガンである“あの笑顔に会いに行こう”を達成することができたとスタッフ一同、感じた次第であります。



最後に、当番回生のシステムに当初は困惑を感じておりましたが、今では、この様な役を与えていただいたことにより、同期生の和、並びに、地域の和を広げることができたことに感謝申し上げますと共に、本同窓会の今後ますますのご発展を祈念申し上げます。ありがとうございました。



恩師ルーだより[∞]

シリーズ(4)



因島高校の思い出

恩師 藪木 茂



因島高校の同窓生の皆様こんにちは。私は昭和39年から51年までの12年間国語科の教師としてお世話になりました。16回生から28回生までご縁がありました。三原港から1時間余、宇和部港にあがって高校へ行き、島のひなびた雰囲気魅せられて、ここで教師生活のスタートを切ろうと決心しました。

12年もいるようになろうとは想像も出来ませんでした。夢のように楽しく過ぎた5年間、その後の苦しくつらかった紛争の3年間、どこでも良いから転勤させてくれと思った時期もありました。(今思えば3年でよく立ち直ったとも……) 妻も因島が気に入って子育てにも良いし、ゆっくりいようという事で12年になってしまいました。でも、紛争の時転勤していたら印象も違っていただいでしょう。

今思えば紛争の経験も含めて因島で学んだことが私の教師としてのファンデーションになったと感謝しています。

因島高校も移転し同窓会も合併し昔日の印象も余り無いかなどは思いながらも私にとって第二の故郷という想いは変わりません。

母校の三津田高校に勤めるようになって同窓会の仕事のお手伝いをしながら時が経ち、定年退職前には校内理事のまとめ役や学校との連携・会長さんのサポート役やると同窓会の仕事が増えました。これも本務?と思いつつも母校に勤めて19年、ミレニアムという言葉聞く2000年3月、母校を定年退職しました。以後9年間、私学に7年勤める間も含めて同窓会に関わってきました。この度、小江章君の依頼で思い出をとりとめもなくつづりましたが、これも同窓会と聞くと、そのご苦勞を思いや一も二もなくOKした次第。私より7歳違いの「いいおじさん」を「君」呼ばわりして失礼しましたが、私の最初の教え子(私の教師1年目の3年生)です。でご容赦を!

最後に、因島高校と同窓会のますますのご発展を祈念して筆を擱きます。

因島高校と私

恩師 小崎 和郎



昭和40年(1965年)3月の末、はじめて因島にやって来ました。

当時は今のように、テレビで各地のニュースが頻りに報じられることも少なく、同じ県内に暮らしていても、他の地域のことはあまり知られていなかったように思います。

たしか中学生の頃に「二十四の瞳」という映画を見に行ったことがあり、そこに描かれていた風景が、瀬戸内海の「島」に対する私のイメージでした。

少くくは調べておけばよかったものを、因島が造船で栄えていることなど知らないまま、のどかな映画のシーンを思いうかべて、土生港に降り立ったのが因島への第一歩でした。

以来40年が過ぎ去り、今では因島が本当によいところになっています。

旧因島北高校17年、旧因島高校11年、瀬戸田高校6年というのが私の勤務経験ですが、この間に学校は激変しました。

はじめて教員になったその年に機械科・因北分校が一つになって北高校が誕生し、定年を迎えた年に、また一つに統合されるという経過をたどりしました。

たまたま、その両方に立ち会えたわけですが、多分、そんな経験をしたのは、多くの先生方の中で私1人ではなかったでしょうか。

生徒の多い頃、因島2校合わせて14クラスあり、600名余りの生徒が入学してきました。それが、今は3クラス120名です。20年前の1/5に減ってしまいました。10年前の、2校が再統合された時点でも7クラスありましたから近年の減少ぶりはおどろかされます。

私が教員になってはじめて出合った頃の生徒は、2年前ごろから、もう定年を迎える年になっていません。

私は、定年後も未だに学校のお手伝いをさせてもらっていて、週の内2日ほど出ています。今の高校生は自分の孫の年代に当たりますから、歳のかげ離れた生徒に接していると意識の差をどうしても感じます。

因島高校は「小規模校」という位置づけになっていますが、いつまでも、少数精鋭・かがやきのある学校であってほしいことを願って続けていきます。



東京支部

“文化アタッシュ”冥利なり

東京支部
前支部長 中空 善彦 (S29年卒)

支部長職のあと今度は特別顧問として、大世帯支部の広報宣伝活動を引受けた。格好つけて言えば文化アタッシュの心得である。それではと日本画家の金山桂子さん(昭和26年卒)を口説き二人体制を敷いた。



’08年10月7日夜、大尾道市の東京における応援团组织・サポーターの会の公演に金山さんを担いだ。タイトルは「(画家の)私を育んだ因島」。東京駅南口すぐの神鋼ビル地階の会議室に尾道、瀬戸田、因島出身者37名が集まった。大尾道となったからには尾道や瀬戸田、向島の人達にも、もっと因島のことを知ってもらおう、一体感はそこから生まれるという発想からスピーカーとテーマを選んだのだった。

自分史を語る金山さんは戦前、戦後の少女青春時代をタテ糸、因島の風景、暮らし、学校、家庭生活を横糸にして因島をみごとにデッサンしてみせる。とりわけ因島の風物がいかほど画家の道へかき立てたかを熱っぽく語る。海の色、風の音、土の匂い、段々畑、浮かぶ雲、漁舟に巡航船—感性豊かな画家の話は柔らかく出席者のハートを捉えていく。

「海の色は時間によって違うんです。午前の色はキラキラととてもきれい」「そして白砂の輝き。関東ローム層が生んだこちらの砂とまるで違う」「重井から見た佐木島、生口島の春の景色。麦畑が除虫菊へと変わる段々畑にいつまでも見入っていました」「造船所の出入口で見た朝夕のラッシュ。力強さ、逞しさが今も焼き付いています」などなど。

製作のかたわら、光風会理事、日展評議員として活躍する金山さんの“原点”が、参加者一同を瀬戸内へいざなう。芸術の秋、ぴたり嵌った金山さんの講演は大成功だった。



嬉しい話題がもう一つ。’08年春の光風会展に東京支部の岡野菊市君(昭和33年卒)の絵画が初入選し、六本木の国立美術館に展示された。同窓会数人とかけつけて祝う一方、このニュースを関東在住の因島、尾道などの方々にも知って貰おうと岡野君の横顔、入選画を紹介した一文を書いて尾道事務所管理のメールに配信を頼んだ。同窓生にまた画家生まれる—。

文化アタッシュ、まさに冥利なり。

「表参道で会いましょう」

東京支部副支部長
同期会幹事 榎 健二 (S39年卒)

昨年11月29日(土)に、昭和39年卒業生の同期会を開催しました。

恩師の田中健夫先生、松村正熙先生も遠路、広島からご出席して戴き、晩秋の若者で賑わう表参道に還暦を過ぎた小父さん、小母さんが集い、総勢37名の参加で、一次会(ホテルフロラシオン青山)・二次会(三陸)で仲間と旧交を温める楽しいひと時を持つことが出来ました。参加者の中には卒業以来今回初めて顔を合わす人も有り。

卒業以来44年、歩んだ路は夫々違っても、不思議な絆で結ばれ青春時代の想いが時空を超えて蘇り、他愛もない話にも花が咲きました。

今回は、これまでの関東在住者を主体にした東京サンキュー会(39年卒)から案内を広げて、より多くの同期仲間の参加を呼びかけての開催案内としましたが、それに呼応し、広島、因島、大阪等からも大勢が参加してくれ、お陰で盛り上がった会合になりました。

我々が高校生活を過ごした時代の因島は、造船の町として全国の中でも勢いと輝きがあった時期で、若い熱意溢れた先生から多くを学び、一方では昼休みのフォークダンス、体育祭でのファイヤーストーム等、長閑な学園生活が送れたよき時代であったことも、皆の根底にあり今回の参加に繋がったものと思います。

今では皆な年齢は還暦を過ぎ、未だ現役で頑張っている人もいれば、既に会社生活を無事卒業し悠々自適にセカンドライフを送っている人等、「黄金の60代」を夫々のライフスタイルで過ごしておりますが、懇談の会話からは、多くの人が過ぎし日の青春の想いは強く印象に残っていて懐かしんでいる模様でした。

今回の会合を通じて、又近い内に集まろうとの声も多く寄せられ元気な再会を誓ってのお開きとなりました。



又、遠方者の一部の希望者は、翌日に古都鎌倉観光を満喫しての帰路となりました。



江牛のすき焼き」が売り物だけあって、口の中ですりけるような美味しさに、みんな満足そうな顔。

陸に上がってからは、近江商人の町並みをぶらりぶらり見物。武家屋敷とは違った落ち着いた佇まいを楽しみました。

その後、10数年前に大挙して訪れた長浜の黒壁スクエアは、さらに観光客を集めて賑やかになっていました。ガラス工芸品がメインなのは変わりありませんでしたが、なんとなく観客を惹きつける工夫がされているように思われました。

その日の天候は曇り空が多く、時折雨が降ったり止んだりでしたが、参加した皆さんの心は晴れやかな一日でした。



関西支部

近江八幡水郷めぐりに昔をしのぶ

関西支部 支部長・金子征二郎 (S39年卒)

昨年6月15日に行われた関西支部総会では、本部、広島支部、東京支部の皆さんをはじめ全国の同窓生のご協力で、楽しいひと時を過ごさせていただきましたことに、改めてお礼申し上げます。その折には賛助金のお願いをしたところ、80万円以上の振込みがありました。総会に出席できない方だけでなく、関西以外からも多くの方からご協力いただいたお陰で、無事に終えることができました。ありがとうございました。



毎年恒例の秋の行事として、レクリエーション担当の松浦正文支部長(33年卒)、常任委員の宜野座愛子さん(44年卒)が「近江八幡水郷めぐり」を計画してくれました。総会の後始末などから解放されて、すこしのんびりしたい気持ちがあり、ぴったりの企画だと思いました。

ところが、家族やグループが大挙して出かける紅葉真っ盛りの10月26日(日)を選んだために、常連の回生から「申し訳ない、他の旅行とかち合っている」や「家族で近場の紅葉狩りに行く」ので不参加の返事が相次ぎ、予定の人数を大幅に下回り、18人で出かけました。

しかし、人数は少なければ親しみは深まり、新大阪を9時に出発したバスの中は、早くも和やかな話し声や笑い声に包まれました。

近江八幡の水郷めぐりは、知る人ぞ知る豊臣秀次公が400年前に始めたもので、水郷めぐり発祥の地なのです。1隻に6人ずつが乗り込み、船頭が操る手漕ぎの櫓の音に耳を傾けていると、因島で伝馬船に乗っているような、のどかな気分を満喫できました。お昼の食事は船上で「近

広島支部

広島支部長 村上 雄蔵 (S35年卒)
同事務局長 味沢 重明 (S45年卒)

全国の因島高等学校同窓会員の皆さま、お元気でお過ごしのことと存じます。

広島支部の最近の活動状況の概要についてご報告いたします。

1. 広島支部活動状況

平成20年秋季レクリエーションの実施

今回は初めての試みとして、宿泊旅行を行ないました。

“びっくりに仰天、阿蘇・湯布院2日間の宿泊旅行”
H20年9月19日(金)、20日(土)

9月19日(金)広島駅新幹線口AM7時20分集合。心配された台風13号は広島地方を逸れ、曇り模様。参加者は家族を含め9名(男4名、女5名)。阪急交通社のバスツアーに参加し総勢38名で出発。

山陽・九州道を経由し、まず奇岩と溪流が織りなす耶馬溪を見学。川沿いには早くも彼岸花



禅海和尚の銅像の前で記念撮影

が咲いていました。ここには名高い「青の洞門」があり、今から270年ほど前、禅海和尚が村民の安全道を作るため、30年もの永い年月をかけてノミと槌だけで掘り抜いた隧道です。その長さは342m、その洞門の中を偲びながら通行しました。

その後由布院に到着。おしゃれなホテル風な民宿や老舗の宿などが立ち並び、洗練された雰囲気の中をバス



阿蘇・草千里で記念撮影

ガイドさんの説明を聞きながら散策し、有名な金鱗湖で記念撮影。夜はバスの中でガイドさんから九州地方の方言の紹介があったので、それらを思い出し、故

郷因島の方言を出し合いながら遅くまで談笑した。

二日目はAM 8時ホテルを出発し、阿蘇・草千里に到着。ここは、阿蘇五岳のひとつ烏帽子岳の北麓にあり、直径1 kmほどの火口跡に広がる円形の大草原を眺望し、マイクロバスに乗り換え、火口付近まで行き噴煙している世界一の火口まで阿蘇登山をしました。

その後、阿蘇リフレッシュリゾート(阿蘇くじゅう国立公園内にある予防医療型の健康宿泊施設)に到着。

リゾート内で昼食し、記念撮影しながら、施設内をあちこち見学しました。

最後の訪問先のキムチ店で買物を済ませ、19時30分広島駅に無事帰着。今回の宿泊旅行は参加費も安く、ゆとりのある日程で、たいへん楽しくのんびりと旅が出来ました。



阿蘇火口で記念撮影

2. 広島支部同好会活動状況 第27回ゴルフコンペの開催



第27回ゴルフコンペ記念撮影

平成20年11月16日(日)あいにくの曇り空の下、東広島CCにおいて開催。

今回はいろいろと都合の取れない方が多く、参加者は8名。花岡角雄ゴルフ同好会会長(38年卒)の開会の挨拶があり、世話役の小林章三幹事長(40年卒)のルール等の説明後、和気あいあいの中でスタート。プレー終了後はミーティングを開始。表彰式ではダブルペ

リア方式により成績が下位から発表され、優勝カップを手にしたのは村上雄蔵広島支部長(35年卒)でした(参加者が少なかったのが勝因との声あり)。なお、今回の景品は参加者から多種多様な品物が提供され、プレーよりも景品の方で満足された様子で、次回には多数の参加者となるよう申し合わせをし、無事終了いたしました。

3. その他

(1) 出版物の紹介

小林章三広島副支部長(40年卒、中庄出身)と同期の縁で、3点の出版物の紹介がありました。

「告白」……著者は湊かなえさん、本名は金戸(旧姓松浦)美香さん(因島高校平成3年卒) 双葉社

今回の「告白」で第29回小説推理新人賞。新人の第一作とは思えないミステリーの傑作として全国的に注目されています。

07年第35回創作ラジオドラマ大賞受賞。

父親は松浦肇さん(S40年卒、中庄出身)

「中国全省と台湾読書旅行」……著者は永井四郎さん(因島高校40年卒、東京在住) 文芸社

今回はユニークな中国紀行として出版し、中国とアメリカ、どちらが日本にとってまだマシか?

謙中派(だった)の著者が中国を旅しながら何を思い、何を感じたかが満載。

その他「騙されて、ボラれて、ドジッて(世界100ヶ国)」を出版。自称「海外旅行中毒症」

「僕ら戦後の少年だった」……著者は道脇弘俊さん。著者の妻は道脇小夜子さん(因島高校40年卒、中庄出身) 鳥影社

世界の海を股にかけた船乗りが少年時代から青春期を振り返る、懐かしさと海のロマン溢れる面白いエッセイ集。エライ時代に僕らは生まれた、子供の頃は何かもなかった、そして何でもあった。その他「海を旅する男たち」等を出版。道脇小夜子さんは広島支部の副支部長として活躍中。

(2) 第9回広島支部総会のお知らせ

下記のとおり決定しました。

第9回広島支部総会のお知らせ

日時:平成21年10月25日(日)

場所:ANAクラウンプラザホテル広島
(広島市中区中町7-20)

広島支部のホームページ

<http://www21.ocn.ne.jp/~innoshima/>



旧因島高校の跡地 仮称因島南中学校建設で 起工式を実施。

多くの同窓生の学びの館であった旧因島高校の跡地に、来年4月に因島南中学校(仮称 三庄中・土生中・田熊中を統合)を開校するため、去る10月3日、建設予定地内で起工式が実施されました。

中学校の建設は、旧因島高校の跡地(22,330㎡)をすべて活用し、鉄筋3階建て(延べ5,965㎡)の校舎と、一部2階建ての屋内運動場(バスケットコート2面1,406㎡)、クラブハウス、ナイター設備なども完備されるもので、用地取得費を含め23億円の費用が投じられることになっています。



現在の工事状況



完成予想図

同窓生の強い絆を実感 盛況の古希記念四人展

因島高校を昭和33年(1958年)に卒業し、来年70才を迎える同窓生が、昨年11月2・3日の両日、尾道市因島土生町の“ポートピアはぶ”で古希記念四人展を開いた。

会場は、小江同窓会長をはじめ関東、関西、広島支部役員や同窓生、地元関係者など約400人の来場者で終日賑わいました。

出品者は、書道・俳句・南画の中西智佐子さん(大阪市在住)、油絵の岡野菊市さん(埼玉県桶川市)、写真の堤康雄さん(大阪・高槻市)、日本画の戸田照夫さん(尾道市因島中庄町)の4人。



中央書壇で活躍する中西さんの呼びかけが四人展のきっかけで、中西さんが約40点、他の3人が約10点の作品を出品した。故人の、村上忠司さんの遺作油絵2点も特別展示されました。

四人展開催に当たっては、数ヶ月前から同期性が中心となって準備を進め、案内状の発送から、ポスター、ピラの配布、会場の設営まで汗を流されました。

世話人代表の宮地芳さん(尾道市因島鏡浦町)は「同期生が快く協力してくれ、本当にうれしかった。この四人展を通じ、同期生の心の絆が一層強まった」と語っていました。



広告掲載各社名
(順不同・敬称略)
ご協力ありがとうございます。

JTB特定パートナー店・近畿日本ツーリスト提携店
(有)ITMツーリストサービス
代表取締役 松浦 真博(S53年卒)
広島県尾道市因島土生町1899-31
TEL 0845-22-8888 FAX 22-7982

自動車販売・車検・損害保険
アイ・ビー車検株式会社
代表取締役 村井 弘明(S40年卒)
尾道市因島重井町5798-1 TEL0845-24-3223

株式会社 アコービレ
代表取締役 小江 敦子(H6年卒)
尾道市因島田熊町1025-3
TEL 0845-22-6417

カラオケスナック
ラウンジ 吾妻
東 優子(S36年卒)
尾道市因島土生町 TEL0845-22-8887

株式会社 いまじ
今治 孝之(S32年卒)
尾道市因島土生町2205

鮮魚・卸・小売
一色商店
一色 伸良(S55年卒)
尾道市因島土生町1897-6 TEL0845-22-0115
(中央マート) TEL0845-22-2231

乗合バス・観光貸切・旅行業
因の島運輸株式会社
取締役社長 村井 敏宏(S38年卒)
尾道市因島土生町2201 TEL0845-22-2171

医療福祉もお手伝い
因の島ガス株式会社
代表取締役 村上 祐司(S39年卒)
尾道市因島田熊町5037 TEL0845-22-2222

ふるさと因島再発見!

社団法人 因島観光協会

会長 村上 祐司(S39年卒)

尾道市因島土生町1899-31 TEL0845-26-6111

因島機械株式会社

代表取締役社長 村上 徳明(S40年卒)

広島県尾道市因島重井町4444
TEL 0845-24-2345 FAX 24-2346

因島汽船株式会社

代表取締役 村井 弘明(S40年卒)

尾道市因島土生町1460-4
TEL 0845-22-2525
高齢者総合福祉施設

因島金属株式会社

専務取締役 兼本 勝一(S53年卒)

広島県尾道市因島重井町84-1
TEL 0845-25-1182 FAX 25-1183

因島商工会議所

尾道市因島土生町1809-20
TEL 0845-22-2211

園芸刃物製造

(株)岡恒鋏工場

代表取締役 岡野 恒也(S59年卒)

尾道市因島田熊町18-1 TEL0845-22-2546

明るい笑顔と楽しい生活

(株)因島スーパー

代表取締役社長 石川 英二(S42年卒)

中庄店 TEL 24-3111 田熊店 TEL 22-8556

飲料のことならおまかせ

(有)因島総合飲料

代表取締役 浜岡 利治(S34年卒)

尾道市因島重井町5800-671 TEL 0845-24-1181

青いそよ風がお迎えにあがります

因島タクシー(株)

代表取締役 藤井 康幸

広島県尾道市因島土生町2332-8
TEL 0845-22-2255 FAX 22-5993

有因島中央青果 村上八重松商店

代表取締役 永宗 敏(S41年卒)

広島県尾道市因島田熊町1087-1
TEL 0845-22-2121 FAX 22-6716

因島鉄工業団地協同組合

理事長 柏原 公生(S38年卒)

広島県尾道市因島重井町474-1
TEL 0845-25-1151 FAX 25-1158

圓光産業株式会社

取締役専務 圓光 幸治(S39年卒)

広島県尾道市因島重井町474-25
TEL 0845-25-1115 FAX 25-1181

メガネ・宝石・時計

有限会社 オオハシ

代表取締役 大橋 靖三(S41年卒)

尾道市因島中庄町1985-4 TEL0845-24-3983

株式会社 大西組
株式会社 大西組造船所

代表取締役 大西謙治郎

広島県尾道市因島田熊町4331-3
TEL 0845-22-0490 FAX 22-0756
E-mail:k0024@rose.ocn.ne.jp

岡野歯科クリニック

岡野 主裕(S60年卒)

尾道市因島土生町1899-8 TEL0845-22-8962

岡野登記測量事務所

土地家屋調査士 岡野 隆一(S50年卒)

尾道市因島土生町1762-16 TEL0845-22-5130

味が自慢のイギリス食パン

(有)岡野製パン所

尾道市因島田熊町1067-4 TEL0845-22-0564

各種二輪車・自転車販売・修理
車のことならなんでも……

柏原モーターズ

代表者 柏原 功(S53年卒)

尾道市因島中庄町徳永 TEL/FAX0845-24-0046

機械器具設置工事業

(株)カスタムインダストリー

代表取締役 岡田 雅弘(S45年卒)

尾道市因島重井町2748 TEL0845-26-1066

地域と共に未来に向かって!

総合建設業

(株)加納屋建設

代表取締役 村上 龍雄

広島県尾道市因島重井町5800-46
TEL 0845-26-2223 FAX26-2258

(有)河上電業

代表取締役 河上 光男(S51年卒)

広島県尾道市因島重井町84-1
TEL 0845-25-1182 FAX 25-1183

喫茶 モラル

森本 由紀(S36年卒)

尾道市因島土生町276-3
TEL 0845-22-0192

(有)クレセント

代表取締役 藤原 繁広(S47年卒)

興文館書店

楠見 芳教(S35年卒)

広島県尾道市因島土生町1899-70
TEL 0845-22-0251 FAX 22-3334

介護住宅改修

小丸建設

小丸 芳正(S61年卒)

尾道市因島土生町886-7 TEL0845-22-2926

坂井文具店

坂井 邦明(S43年卒)

尾道市因島田熊町1113-1 TEL0845-22-0570

小林司法書士事務所

司法書士 小林 徹伸(H元年卒)

尾道市因島中庄町3142-3 TEL0845-26-2047

深く正確なアピール
相方印刷株式会社
 専務取締役 相方 秀文(S44年卒)
 広島県尾道市因島土生町2001-3
 TEL 0845-22-0313 FAX 22-0307

有限会社 三協工業
 尾道市因島土生町1899-8
 TEL 0845-22-8962

日本の銘酒/魚貝・産地直送
 郷土料理 **と 陸**
 代表取締役 川上 利子(S40年卒)
 東京都渋谷区代々木1-39-11 TEL03-3320-8800

 **因島・重井・三和ドック**
SANWA DOCK
 Craftsmanship since 1961
 〒722-2193 広島県尾道市因島重井町600
 TEL 0845-26-1111 FAX 0845-26-1000
 http://www.sanwadock.co.jp

サンライズ株式会社
 代表取締役 桑原 純克(S37年卒)
 広島県尾道市因島中庄町5018-1
 TEL 0845-24-3280 FAX 24-3288

サロン・ド・宮地
 宮地守人(S42年卒)
 広島市中区金山町12-13センチュリーハウス4F
 TEL 082-542-5568

名物「島そだち」
松 愛 堂
 因島本店 因島土生町長崎 TEL0845-22-1357
 郵便局前店 因島土生町本局前 TEL0845-22-4893
 因北店 因島中庄町パルティ店内 TEL0845-24-2085

新栄産業有限公司
 代表取締役 中川 諭(S52年卒)
 広島県尾道市因島重井町5012
 TEL 0845-24-3773 FAX 24-3774


TKCコンピュータ会計
新川征彦税理士事務所
 所長 新川 征彦(S38年卒)
 尾道市因島土生町1671-16 TEL0845-22-3131

すし丸 因島店
 代表 楢原 勝文(S40年卒)
 尾道市因島中庄町3390-1 TEL0845-24-3934

スタンドライン
 正岡 ちづ子
 尾道市因島土生町2090-10
 TEL 0845-22-6026

住まいと不動産
(株) ステージ
 代表取締役 佐々木園子(S61年卒)
 尾道市因島重井町4932-13 TEL0845-24-3840

スナック 夢模様
 尾道市因島土生町 TEL0845-22-3008

遠近両用眼鏡と補聴器
 **精工堂**
 いんのしまを、世界いち美しい島に。
 みなとびゅうあつん
 至三庄 外産ショップのみ
 尾道駅前 尾道駅前
 尾道駅前 尾道駅前
 尾道駅前 尾道駅前
 メガネ・宝石・時計・補聴器 ☎22-1101
 尾道市因島土生町宇和部 1454

瀬戸内検査工業(有)
 尾道市因島重井町5314-9
 TEL 0845-24-3308

(株) 竹中商会
 代表取締役 竹中 啓修(S31年卒)
 広島県尾道市因島中庄町4895-1
 TEL 0845-24-3188 FAX 24-3189

中国新聞因島南販売所
 岡村 俊典(S44年卒)
 広島県尾道市因島土生町1677-7
 TEL 0845-22-1916 FAX 22-6687

東京海上日動火災保険(株)
 東京海上日動あんしん生命保険(株)
 代理店 **有限会社ラブワン**
 代表取締役 河井 實(S38年卒)
 尾道市因島土生町2089-1 TEL0845-22-5821

アフラックのガン保険代理店
(有) 富喜商会
 尾道市因島田熊町4970-12
 TEL 0845-22-3057

ゴルフ用品・各種ウェア・ユニホーム・ギフト
(有) ナイスウェア
 代表取締役 村上 公俊(S49年卒)
 尾道市因島重井町5119-3 TEL0845-24-3128

日昇無線株式会社
 代表取締役 四辻 修(S48年卒)
 広島県尾道市因島重井町474-15
 TEL 0845-25-1178 FAX 25-1639

因島・生名 - 三原間 大好評!!
 高速艇+タクシーセット券
土生商船株式会社
 代表取締役 弓場 丞(S45年卒)
 尾道市因島土生町1684-2 TEL0845-22-1337

HARISON CO.,LTD
(株)ハリソン産業因島
 代表取締役 幡地 正義(S46年卒)
 尾道市因島重井町5265 TEL0845-24-3050

保温・保冷・板金・築炉・耐火工事
株式会社 橋本組
 尾道市因島重井町5072-8
 TEL 0845-22-2066

ハイツ たがしら
 阪急京都線・淡路駅前
 田頭 誠治郎(S28年卒)
 尾道市因島中庄町天神722-2 TEL・FAX 0845-24-3093

文化ハウス
 阪急千里山線・下新庄駅前

確かな技術力と高い信頼性のテクニカル企業
ビー・シー保全工業(株)
 尾道市因島重井町5800-74
 TEL 0845-24-0242

水中工事施工
株式会社 備後海事
代表取締役 村上 涼司(S39年卒)
広島県尾道市因島重井町5803-3
TEL 0845-24-1915 FAX 24-2232

カーテン・室内装飾
寝具品・京呉服
有限会社 ふじい
尾道市因島土生町2257-1
TEL 0845-22-2227

藤原司法書士事務所
司法書士 藤原 浩二(S53年卒)
尾道市因島田熊町1932-1 TEL0845-22-1370

文具と事務機・OA機器・ギフト・日用雑貨
(有) 二神愛國堂
取締役社長 二神 悠嗣(S59年卒)
広島県尾道市因島土生町1899-22
TEL 0845-22-1485 FAX 22-8014

塗装工事(船舶・建築・機械)全般/足場工事一式
有限会社 平成塗装
代表取締役 野田山 強(S44年卒)
広島県尾道市因島重井町4855-1
TEL 0845-24-3026 FAX 22-6101

婦人服
splendeur
ホンゴ **HONGO**
尾道市因島田熊町 TEL0845-22-0535

本四バス開発(株)
代表取締役 吉川 清忠
広島県尾道市東御所町11-15
TEL 0848-25-5571 FAX 25-5574

マキハタ機工
代表者 巻幡 伸一
尾道市因島中庄町2120-2 TEL0845-24-1185

配管・建築業
(有) マサキ工業
代表取締役 金山 政輝(S41年卒)
尾道市因島三庄町4区 TEL0845-22-8780

松浦登記測量事務所
土地家屋調査士 松浦 康之(H2卒)年
尾道市因島中庄町3130-1 TEL0845-24-1897

有限会社 マツ建工
代表取締役 松下 隆盛(S38年卒)
尾道市因島重井町992-1 TEL0845-25-1757

松村金属有限会社
代表取締役 松村 和弘(S52年卒)
松村 重子(S43年卒)
尾道市因島田熊町5049 TEL0845-22-2294

株式会社 丸扇技行
取締役 岡野 敬一(S45年卒)
広島県尾道市因島中庄町3880-1
TEL 0845-26-2256 FAX 26-2245

万田発酵株式会社
代表取締役会長 松浦新吾郎(S38年卒)
代表取締役社長 松浦 良紀(H元年卒)
因島重井町5800-95 TEL0845-24-3555 FAX26-2034
ホームページアドレス <http://www.manda.co.jp/>

真心のこもったサービス
ホテル みやじま
(因島)土生町2562-1 TEL(0845)22-1450代

写経会と水子供養
妙見山 明德寺
尾道市因島三庄町1945
TEL 0845-22-0933

心のかようファッション広場
ムラカミ
株式会社 ムラカミ
代表取締役 村上 稔(S30年卒)
尾道市因島土生町1899-97 TEL0845-22-2383

出光興産販売店
村井石油株式会社
本店 因島土生町2257-1 TEL0845-22-0742
因島S S 因島土生町18-1 TEL0845-22-0041
中庄S S 因島中庄町646-8 TEL0845-24-0162

村上司法事務所
司法書士・土地家屋調査士 村上 正則(S51年卒)
行政書士 村上 恭子(S51年卒)
尾道市因島土生町1762-28 TEL0845-22-5634

(有) 村上造船所
代表取締役 村上 善彦(S53年卒)
尾道市因島土生町1894-3 TEL0845-22-0317

村上溶材株式会社
代表取締役 村上 威(S43年卒)
広島県尾道市因島重井町5657
TEL 0845-24-2222 FAX 24-2884

総合建設業
有限会社 村田建設
尾道市因島土生町1052-6 TEL0845-22-6447

有限会社 メイセイ
取締役社長 西岡 健二
広島県尾道市因島重井町5800-126
TEL 0845-24-2648 FAX 24-2649

浄化槽管理・清掃・修理
浄化槽保守点検登録業者・広島県4第0817号
モリワキ工業
水を守る
〒722-2323 尾道市因島土生町1784-8
TEL 0845-22-9176
FAX 0845-22-9177

不動産業
山幸不動産
代表者 岡野 敏郎(S56年卒)
尾道市因島田熊町港区 TEL0845-22-9596

YOUNG SUN
TOTAL FASHION ACCESSORIES
ヤング産業株式会社
因島工場・物流センター/〒722-2102 広島県尾道市因島重井町5800-22
TEL(0845)24-3331(代) FAX(0845)24-3339
本社/大阪 支店・営業所/ロサンゼルス・ローマ・香港
<http://www.young.co.jp/>

有限会社
ラコフット
〒722-2322 広島県尾道市因島三庄町387-2
TEL 0845-26-2201

尾道市因島外浦町69
TEL0845-24-1913
入場料：無料

全国に届け! 「囲碁」の島 因島



囲碁資料館



秀策生家(復元)

設が進められていた『本因坊秀策 囲碁記念館』が、9月27日に生誕の地である因島外浦町にオープンしました。

記念館は幕末の天才棋士で「碁聖」としてたたえられている本因坊秀策の愛用の碁盤などの遺品30点をはじめ、囲碁にちなんだ浮世絵、定石集などが展示されています。

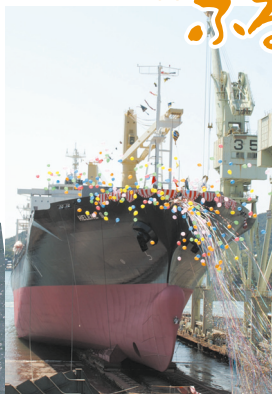
秀策の生涯を描いたDVDも上映されており、復元された生家では囲碁の対局も可能ですので、帰省の際には是非お立ち寄りください。

旧因島市時代に「市技」であった『囲碁の町=因島』を全国に認知していただくための発信の基地として建

“ふるさと因島”



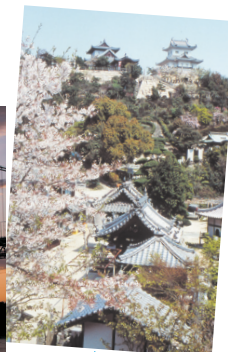
水軍祭り



進水式



因島大橋

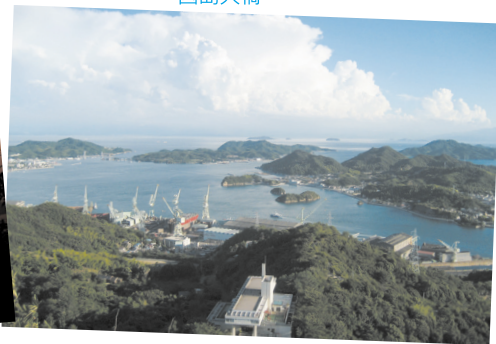
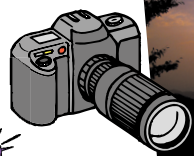


水軍城(中庄町)



因島 観光 写真

観光写真展応募作品より



編集後記

100年に一度と言われている今回の不況は、アメリカ発の世界的な金融危機が実体経済に波及し、世界同時不況となったものだが海運業を中心として栄えてきた街にもその影を落としている。

初詣に地元の神社に出かけたが、いつになく合わせる手に力が入り、時間も長かった。そして、努めて明るく振舞うことを誓った。

「島が沈む」と言われた1985年の造船不況から立ち直り、地場産業が元気を取り戻し、減り続けた人口が鈍化してただけに残念だ。因島の中心部にあった大手スーパーの建物も取り壊されることになったが、商店街や地域コミュニティーは確実に元気を取り戻している。

因島は『優秀な人材の宝庫』と言われている。日照時間が長く、暖かいこの地で育った苗が因島地域を支え、全国で活躍することを願っている。

事務局だより

事務局長 荻野康彦 (S40年卒)

明けましておめでとうございます。

ご家族共々、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の元日、自宅近くの天狗山(因島公園)に登り、四国まで見渡せる瀬戸内海の島々を眺めながら、因島の発展を祈願いたしました。昨年来、大変厳しい社会情勢となっています。

因島高校同窓会、懐かしさだけでなく地元高校の発展や充実をも含め、皆様方からのご意見などは是非お寄せ下さい。心からお待ちいたしております。

会員の皆様方にとって、今年が良き年になりますよう祈念申し上げ、事務局だよりとさせていただきます。